

# 身近な火の元にご注意

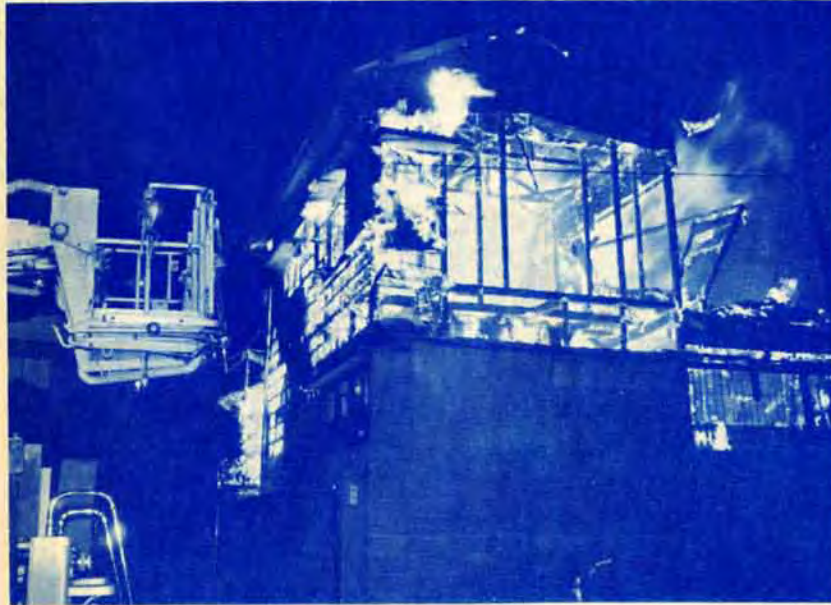
## 火災から命を守ろう

2月28日↓3月13日 春の火災予防運動

市消防局は、2月28日から3月13日までの二週間、「春の火災予防運動」を実施します。

昨年は大阪千日デパート火災や列車火災などの大規模な火災が起こり、多くの命が失なわれました。再びこのような事故が起こらないよう、この運動の重点目標に、次の四つをあげました。

①旅館、ホテル、病院、福祉施設や雑居ビルの安全避難体制を充実する ③家庭での安全避難体制を充実する



③火災危険地域の防火環境づくりを進める ④車両や林野火災の防止対策を推進する。

消防局はこの重点目標にもとづき、病院、旅館などの避難設備を調査・指導。商店街、市場などを防火診断。また、林野火災の防火演習を行なうなど、積極的に予防運動を進めます。しかし、いくら消防局がこの運動を進めても、市民の協力がなくては火災は防げません。市民のみなさん一人ひとりが、火事を起こさないよう、火の元に気をくばりましょう。

### わが家の防火診断を

ことしの防火標語は「慣れた火に新たな注意」。

暖かくなると、ストーブやコタツなどの消し忘れが原因で火事が起きています。消したかどうか、もう一度確かめましょう。また、家庭のコンロやガス器具、電気器具などの再点検を必ずしましょう。あなたのうちの防火は充分かどうか、右下の表で、チェックしてみてください。異常を見つけたら、すぐに修理を。

### 依然トップはタバコの不始末

毎年、タバコの不始末が火災原因

《わが家の防火診断表》

種類	診断内容	チェック
ふろ	1. たき口付近に燃えやすいものを置いていないか 2. 液体燃料(灯油・重油など)は正しく使っているか	
煙突	1. 煙突にひび割れなど傷はないか 2. 壁から15cm以上離れているか 3. 屋根から煙突の先端までの間が60cm以上あるか 4. 火の粉が飛んでいないか	
LPガス	1. ガスボンベは転倒しないようにしているか 2. ボンベは直射日光のあたらない所に置いているか 3. ボンベを家の中においていないか 4. 配管は金属パイプか	
ホースの	1. ホースはいたんでいないか 2. ホースとガス器具の取付け部分に金具(ホースバンド)を使って締めつけているか	
コンロ	1. コンロの置台は燃えないもので作っているか 2. コンロの付近に燃えやすいものを置いていないか	
電気配線	1. 屋外配線が屋根や雨どいにふれていないか 2. 配線はいたんでいないか 3. シロウト配線をしていないか 4. タコ足配線をしていないか	
その他	1. 寝る前に火の元を点検しているか 2. 火災に備えて、消火器やバケツに水を用意しているか	

因のトップです。投げ捨てや寝タバコは大火のもと。タバコは必ず消して灰皿に入れましょう。

### 老人などを火災から守ろう

最近、特に老人や子どもなどの焼死事故が目立っています。これは、老人や病弱な人、子どもが、いざというときの判断力・行動力が劣るためです。老人などを火災から守るために、次のことに心がけましょう。

①老人などの寝る場所は、一階の出入口近くなど、避難しやすいところにする。

②老人などを家に残して外出する時は、近所に声をかけて、万一の時の協力を依頼しておく。

### 奥さんのミニ防火

【天ぷら鍋に火が入ったら】大きな炎があがりますが、あわてて鍋を持ち出したり、水をかけると危険です。まず、ガスの元せんをしめ、天ぷら鍋にふたをするか、野菜を入れましょう。

【ガスコンロ】ガスコンロをいくつも並べて使う時は、適当に間かくをあけ、ゴム管が熱で焼けないように。また、ゴム管はあまり古くならないうちに取りかえましょう。

【ガスもれ】石けん水を塗り、アワが出る所がガスもれ箇所。見つけたらすぐせんを締め、うちわなどでガスを追い出しましょう。



# 行楽シーズンに多い火災!!

## — 出かけるときは必ず確認を —

毎年、春先になると空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。また、日差しが暖かくなり、戸外でレジャーを楽しむ機会が多くなります。そのため、留守宅では発見が遅れ、大火になりがち。家族そろっての旅行は楽しいものですが、出かける前に、今一度次のことを確認しましょう。

- ① テレビ・アイロンなど電気器具のプラグを完全に抜く。
  - ② ガスのもととセンは確実に締める。
  - ③ コンロやストーブの火を完全に消す。
- また、行楽先の野山では、タバコやたき火の不始末が原因で、山火事が起こり、大切な自然や資源が灰になってしまいます。一昨年の林野火災では、約二十六億八千万円の被害がありました。火の後始末は、きちんとしてください。

旅先でも火災はつきもの。自分の家の火事でも逃げ遅れて命を失なうことがあります。まして、慣れない旅館などでは……。どんなに注意してもしすぎることはありません。

ません。

旅行などで、旅館やホテルに泊まる時は、次のことを確かめておきましょう。

- ① 避難器具の置いてある場所。
- ② 避難階段、非常口がある場所。

### 消防設備基準が

### 改正になりました

昨年5月、百十八人の死者を出した大阪千日前デパート火災をはじめ、多くの死傷者がでるビル火災が続発しています。このため、多くの人が出入りする施設や雑居ビルなどの消防用設備拡充強化を中心に消防法令が改正され、6月1日から施行されます。

次のように、建築物の設計、施工、維持管理の点が改正されています。

- ① 防火管理者の選任義務対象物を拡大
- ② 防災製品の使用を拡大、強化
- ③ 自動火災報知設備、スプリンクラー設備、避難器具、連結散水設備、非常警報設備、非常放送設備など消防設備の設置基準を強化。

現在、使用している建物や建築中のもので、改正基準どおりにしなければならぬ場合があります。くわしくは、もよりの消防署か市消防局予防課（市役所三階52局3812）へおたずねください。

## 消火器の不正販売に

### 注意!

近ごろ、消防署員に似た服装で旧型の消火器を高く売りつけたり次のようなことをいって、強制的に消火器を売りつけるセールスマンがいます。

「お宅は、消防法によって消火器を置かなければなりません。違反すると消防署から罰せられます」  
「私は、消防署から頼まれて販売している」

このほか、カタログを持たないとか領収証を発行しないなど、消火器販売について不審なことがあります。また、押し売りするセールスマンは、110番へ通報を。

## お宅の電気器具は大丈夫?

電気器具の中には、充電中、使用中に火事をおこすおそれがあるものがあり、製造元や販売店で回収しています。お宅の器具を調べて、次のものがありましたら、すぐに購入店へ。

- ▼三洋電機(株)・旧型カドニカ充電式ライト：NL-221、421、224、431、432、521、522、S61
- 充電式カミソリ：SV-1000、2000、41
- ▼ナショナルマホビン(株)・エベレスト電子ジャー：NEJ-7、10、13。
- ▼象印マホビン(株)・象印電子

## 防災の話

たき火やストーブにあたっていたところ、着ていた衣類に燃えうつり、子どもや老人が焼死したという痛ましい話やストーブの火がカーテンに燃えうつり大火事になったなどという話を、よく耳にします。

このように、繊維類は、簡単に燃えることから、最近、繊維の防災加工技術が開発されました。これは、衣類やカーテンなどを燃えにくく、炎が出ないようにするものです。これにより、火のまわりは遅くなり、消火や避難のときにあわてなくても済みます。

■北九州市防災協力会誕生  
防災の普及や技術研究などを協同で行なうために、市内の防災加工業者や室内装飾業者などが集まって、「北九州市防災協力会」を発足させることになりました。

## みんな見よう = 100万人の消防展



うさたのりみ(君(戸畑小一年)の作品

市消防局は、市制十周年、自治体消防二十五周年を記念して、3月26日から31日まで、市役所二階展示ホール(第一会場)と小倉市代までの消防の変遷、未来の消防、世界の消防、水上消防、火災と気象などの展示品や資料を展示。

第二会場では、特殊車両の操作実演、レインジャー隊の救助演習、消防音楽隊の演奏とパレード、近代的な消防器材の展示など。

くわしくは、市消防局予防課52局3812へどうぞ。